

平成26年 6月23日

## 報 告 書

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

那須塩原市議会 第3班 班 長 齋藤 寿一  
記録者 植木 弘行  
相馬 剛

下記のとおり報告会を開催いたしましたので、報告します。

### 記

1. 日 時 平成26年5月14日（水）午後6時30分～7時50分

2. 会 場 大山公民館

3. 担当議員と役割

#### 【担当議員】

齋藤 寿一 （班長）  
中村 芳隆 （副班長）  
松田 寛人 （司会者）  
平山 啓子 （定例議会審議報告）  
大野 恭男 （議会活性化検討特別委員会活動報告）  
山本 はるひ （放射能対策検討特別委員会活動報告）  
植木 弘行 （記録）  
相馬 剛 （記録）

#### 【応援議員】

藤村 由美子、櫻田 貴久、吉成 伸一、若松 東征、  
人見 菊一

4. 参加者 市民19名（男性 15名、女性 4名）

## 5. 主な意見・要望

### 質疑・応答

#### <定例会の報告について>

Q：請願・陳情審査結果があるが第1号が書いていない気がするがどこにあるのか。

A：請願第1号、青少年育成は4ページに出ている。委員会で採択をした。

Q：那須塩原市定住促進計画に反対の方も何人かいたが、どんな意見が出ていたのか。

A：新幹線定期代購入や3世代同居補助に対し、新たに移住して来る人のみを対象として行うことが市民に受け入れられるのかと意見があった。

#### <議会活性化検討特別委員会活動状況報告について>

Q：議会活性化について、新しくできた取り組みはあるのか。

A：政治倫理条例の制定、通年議会などに取り組んでいる。

Q：議員定数を62名から26名まで削減した。市民の声を吸い上げられるのか。減らすことに重点をおいているのではないか。

A：議会活性化検討特別委員会で市民の声（パブリックコメント）を頂いて検討し、26名が那須塩原市では妥当であると意見がまとまりました。市民負託に応えるだけの体力を残した人数だと思っている、

#### <放射能対策検討特別委員会活動状況報告について>

Q：市有地を仮置き場にしてほしい陳情がされたが何を置くのか。

A：自宅、学校に落ちてある剥いだ表土等をまとめたもの。

Q：市有地のところに埋めさせればいいのでは。

A：目の前に住宅地があり、地域のを置いてしまうことに新たな心配が出る。考えにくい。

### 意見交換

Q：2月15日大雪時、市役所に雪かきの連絡をした際、私道はやれないと職員に言われた。私道・公道と区別するのは非常におかしい。

A：50年から100年に一度という想定外の大雪で執行部も除雪隊を確保するのに困難を極めた。私道の中で住んでいる方も結構いる。同じくやっっていけるよう検討するように執行部へ申し伝えていく。

Q：2月に確定申告に行ったが、人（担当）によって言うことが違うので、スペシャリストがいてほしい。

A：確定新申告時のその様な事に関し、確認させて頂きます。不信な意見があったことを行政に伝える。

Q：猫の被害に困っている。何かいい方法はないか。

A：条例がないので、ちょっと難しい。

Q：T P P 交渉に関する陳情が採択されたとあるが、どのような内容だったのか。議会でどのような意見があったのか。

A：T P P 交渉において、衆参農林水産委員会決議を実現すること。国民への情報開示を徹底することが主な趣旨内容です。

Q：歩道の脇の側溝等（下田野の河川公園のところ）を除染すると表土等を持っていく場所がないのか。

A：側溝、歩道、土手は今回除染することで決定している。

Q：定住促進事業に計上された地域おこし協力隊は2名か。また、仕事については、もう決まっているのか。

A：都市部に住んでいる20から30代の方に住んでいただいて、外部からこの地域を見ていただく事業で、仕事については募集をしている最中で今のところ答えられない。

## 6. 報告会の運営について

### <良かった点>

- ・パワーポイントを使っただけの説明がわかりやすくて良かった。
- ・事前準備や会場設営がスムーズにできた。
- ・報告会の進行も混乱なくスムーズだった。

### <反省点>

- ・答弁する議員側の勉強がもっと必要ではないか。
- ・市民の参加者が少なかった。次はもっと参加してもらえるようにしたい。
- ・参加する市民が一定の人になっている。
- ・夕方の時間帯のみで、主婦や女性が参加しづらい。
- ・時期的に話題性が乏しかった。
- ・まだ事務局に頼る部分が多い。

<今後の反省点>

- ・ 15会場終わったので、抜本的な見直しが必要。
- ・ 主婦や女性が来られる時間帯を考慮してはどうか。
- ・ もう少し市民に向けたPRが必要。
- ・ 話題性や市民の興味のある内容を考えてはどうか。
- ・ 議会を理解してもらう目的であれば、今のやり方ではなく、テーブルを囲んだ意見交換会のような方法が良い。
- ・ 人が来るかより、何をやればいいかを考えるべき。
- ・ 大きな会場2か所くらいにしてはどうか。
- ・ 市民の要望をむりやり集めなくてもよいのではないか。
- ・ 市民に対して何が出来るかではなく、市民とどう関わるかをもう一度考えてはどうか。
- ・ 広報広聴委員会を立ち上げ、市民の意思を吸い上げやすくする。